

令和7年度もありがとうございました！

本年度も近畿教育オーディオロジー研究協議会に対して、ご理解とご協力いただきありがとうございました。講演会・学習会では、多くの方々に参加して頂きました。今後も多くの方々に参加していただけるように検討していく予定です。

2月7日に滋賀県で「冬の学習会」を開催いたしました。多くの方々に参加いただきありがとうございました。みなさんからお寄せいただいた感想を紹介し、講演会を振り返ります。

「聴覚障害を持つ医師としての経験から」

医療法人社団昴会 日野記念病院 耳鼻咽喉科 部長

安岡 公美子 先生



参加者の感想

- 実体験を交えたお話で、当事者と医師の両方の立場からのご意見が新鮮でした。
- 非常に興味深い内容でした。人工内耳については当事者の、しかも耳鼻科医ということで客観的でありながらも主観的なお話は大変貴重で、人工内耳のお子さんの話をする時に寄り添える材料をいただけたように思います。
- 最初から最後まで興味深い内容で、あっという間に時間が過ぎてしまいました。資料も見やすくありがたかったです。
- 読書の効果のお話、人工内耳の手術後の変換のお話が体験に基づくもので心に残りました。
- わかりやすい言葉や実体験の内容だったため、今後自分が行う指導のときに、活用したい言葉の使い方や考え方の支援であり、勉強になりました。
- 言葉の理解、習得、表現する力をつけることの大切さと、そのことが、その後の学習にも影響してくることが、よくわかりました。
- 基本的な内容がわかりやすくまとまっており、非常に参考になる資料ばかりでした。また、ご自身の体験も明るい雰囲気の中お話をくださり、たくさんのご苦勞もあったと思いますが、前向きに物事をとらえておられることが伝わってきました。

「これからの聴覚活用を考える」

国立大学法人 茨城大学 教育学部 准教授
田原 敬 先生



参加者の感想

○地域支援をしている私としては、日頃感じていることを整理してくださった思いで伺っています。LEという観点を周りの人に分かってもらえるように、今回の学びを反芻しながら広めていきたいと思いました。ありがとうございました。

○LEとLFのお話は日頃関わる子どもと重ね合わせて考えると理解できることが多く、子どものペース配分に寄り添った支援が必要だと感じました。

○常に情報を取るためのアンテナをはり続けている子どもの負担に意識を向け、そこに向けた支援のあり方について考えることができ、勉強になりました。

○聴覚障害の子たちの担任や親やそして本人までの、聞こえているから問題ないという捉え方と、実はうまくいっていない本人の姿との乖離の原因を、説明できる内容でした。支援する立場の方々にとしっかりと認識してほしいと思いました。また、聴覚障害を持つ本人も、この内容を知り、自分の障害認識として理解することが必要と思いました。

○新しい視点でとても勉強になりました。聴覚障害に対して熱心に研究を進めておられる先生がおられるのは心強いことです。

今後の予定

(令和8年)

8月19日(水) 第27回 夏の講習会(大阪府立中央聴覚支援学校)

20日(木) 第27回 夏の講演会・講習会(大阪府社会福祉会館)

午前 講演

講師 新海 晃 先生(広島大学大学院)

演題 未定

午後 講座

講師 大鹿 綾 先生(東京学芸大学)

演題 未定

11月28日(土) 秋の講演会

(令和9年)

1月30日(土) 冬の学習会

近畿教育オーディオロジー研究協議会事務局

〒670-0012

兵庫県立姫路市本町68番地46

兵庫県立姫路聴覚特別支援学校内

TEL: 079-284-0331

FAX: 079-222-5237

メール: kinkieaa@gmail.com